



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局

〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1

発行人(局長)
稲留 駿斗
(電気科3年)

もりのつくり コンテスト

第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会の溶接部門と旋盤作業部門、自動車整備部門に電子機械科から計6人が出場する。大会へ向けての取り組みと意気込みを紹介する。

電子機械科

溶接部門

自らの課題を克服したい

溶接の速度やふり幅を意識



溶接部門に出場する下里君(左)と中川原君

電子機械科3年生の下里和真君と2年生の中川原裕翔君は6月26～27日に苫小牧市の北海道立苫小牧高等技術専門学院で行なわれる溶接部門に出場する。



金属板を溶接をする下里君(機3)

は減点方式で、外観試験と放射線透過試験で中の溶接がしっかりと行なわれているか、安全な作業ができていないかなど。下里君は「溶接部門の出場を決めたのは、以前溶接の仕事をしていた父から溶接について聞いていたからだ。週3回、放課後に2～3時間ほど練習している。作品が完成したときの外観を綺麗に仕上げることを意識し、自分の課題を克服できるように努力している。日々、課題をどのように改善すればいいかを考えるようにしている。」と語った。

中川原君は「中学生の頃から溶接に興味を持っていて、将来は溶接に関係する仕事に就きたいと思い参加した。練習では溶接する速度やふり幅を意識しながら、速度を一定



慎重に作業する中川原君(機2)

電子機械科

旋盤作業部門

作品の精度を高める

丁寧な作業を心掛ける

電子機械科3年生の須田泰太君と2年生の小村陸君が8月6～7日に小樽市の北海道職業能力開発大学校で行な

れる旋盤作業部門に出場する。競技内容は回転する鉄の丸い棒を規定の寸法通りに削り出し、その精度と完成時間を競うもの。技術面だけでなく、作業場周辺の整理整頓といった安全への配慮も評価の対象となる。競技は減点方式で行われ、制限時間の2時間を超えると超過時間にに応じて減点される。最大3時間まで延長可能。

須田君は「普段は週2回、夏休みは週4回ほど実習棟で練習を兼ね、月2回は外部講師の指導を受けている。昨年の経験を生かして時間的な余裕を持ち、今年は寸法の精度をより高めたい。無駄のない効率的な作業を意識し、当日発表される『隠し寸法』にも臨機応変に対応して優勝を目指す」と力強く語った。

小村君は「目標寸法の測り方やノギスの目盛りを正しく読み取ることを中心に丁寧な作業を心掛けた。初参加なので焦らず、どうしても手ブレなどで精度に差が出やすい部分も慎重に臨みたい。学校での練習機と大会で使用する旋盤の機械は機種が異なり操作方法も違うので、当日は冷静に対応したい」と意気込みを語った。



ノギスで測定する小村君(機2)

旭工 ライフ

新入部員を募集

ラグビー部 部長
上森謙太郎君(機2)



好きな食べ物は寿司

ラグビーは後ろにパスをつなぎながら敵陣を目指すスポーツで、キックを使って前に攻めることもできる。普段はラグビーボールを持って走る練習やパス練習、タックルの練習に励んでいる。

ラグビー部はこれまで全道3位や花園ラグビー場での全国大会に出場

するなど、70年以上の歴史を持つ伝統のある部だが、今は部員不足で存続の危機に直面している。一人でも諦めないことやつらいときでも根性で乗り切り、諦めずに頑張ることを大切に練習をしている。

現在は他校のラグビー部の選手と合同で試合に出場している。チームに貢献できるように考えて行動している。ラグビーはきついこともあるが、仲間との絆を深めながら大きく成長できる魅力的なスポーツだ。

ラグビー部では新入部員を募集している。一緒に汗を流そう。

電子機械科

自動車整備部門

全国大会出場を目指す

動きを一步でも少なく

電子機械科3年生の伊藤巧君と鈴木雅也君は8月4～5日に札幌市の専門学校北海道自動車整備大学校で行なわれる自動車整備部門に2年連続で出場する。

探求、日常点検、部品の計測、学科試験の4つ。旧自動車科の整備工場で放課後に2時間練習している。練習内容はベ

伊藤君は「昨年は結果を残せず悔しかったので今年こそはという思いで出場を決めた。自動車会社の整備士が来て指導してくれるので礼儀や所作を大切にしている。苦勞しているのは学ぶことが多いことと整備を20分以内に終わらせるために動きを一步でも少なくするようにしていること。昨年は緊張していたが、今年は楽しんでいつも通りにやる。2位以内に入って全国大会に行きたい」と話した。

鈴木君は「昨年はあまり良い結果ではなかったので、挽回するために出場を決めた。作業中は音が大きいのでその分、声も大きくハキハキ話すことを意識している。苦勞していることは競技中に指さしや声を出して試験官にアピールすることと筆記試験に出る自動車の構造や部品名、使われ方を覚えること。目標は緊張せずに楽しみながら実力をすべて出し、2位以内を目指す」と語った。



旋盤で作業する須田君(機3)

高体連支部大会等結果

(全道大会出場のみ)

柔道部

男子団体	3位		
男子個人	73kg級	5位	桑田悠叶君(土3)
	81kg級	3位	湯浅直君(建2)
	100kg級	5位	笹川英慈君(土3)
	100kg超級	5位	上村樹生君(化2)

陸上部

男子	1500m	6位	村上蒼空君(電2)
	5000m	3位	村上蒼空君(電2)
	砲丸投	4位	沼岡苾喜君(土3)
	円盤投	5位	沼岡苾喜君(土3)
		7位	川島駿君(電3)
	ハンマー投	3位	山田夕煌君(建3)
	やり投	4位	瀧田來愛君(機2)

バスケットボール部

優勝(40回連続全道大会出場)

バレーボール部

優勝(5年連続)

山岳部

準優勝

バドミントン部

男子団体 3位

空手道

男子個人	組手	3位	三村駿太君(化2)
	形	4位	後藤或斗君(機1)

水泳

男子1500m自由形	1位	鈴木広大君(電3)
男子400m自由形	2位	鈴木広大君(電3)

放送局

研究発表部門 支部推薦
川上大地君(情3)・千葉喜平君(情3)
・青塚琉星君(機2)

バト部

北北海道でベスト8 最後まで諦めずに戦えた

バドミントン部は6月16(19日)に旭川市総合体育館と鷹

栖町総合体育館で行なわれた第78回北海道高等学校バドミ

ニドル級で全国大会出場を決めた山崎蒼空君(土3)



ントン選手権大会に出場し、男子団体で北北海道でベスト8に入った。

部長の泉駿利君(情3)は「大会では練習の成果を発揮し、自分たちが強いプレーができた。流れが悪くなることもあったが、皆で励まし合っ

て乗り越えることができた。チーム全員で声をかけ合い最後まで諦めずに戦えた。後輩には試合中の応援が力になったのでこれからもその強さを生かしほしい。また、失敗を恐れず挑戦し、強いチームになってほしい」と話した。

ボクシング部

山崎君が全国大会へ

反撃のスピードを上げる

ボクシング部は6月2(5日)に札幌市で行なわれた第79回北海道高等学校ボクシング選手権大会に出場し、山崎蒼空君(土3)がミドル級で優勝した。全国大会は8月4(10日)に京都府で行なわれる。

階級を上げて挑んだ今大会を振り返り、山崎君は「昨年、負けた相手にリベンジを果たすことができて本当に良かった。試合開始直後に放ったフックが勢いよく当たり、ダウンを奪うことができた。もともと右のかぶせるフックが持ち味だったが、大会を通してフックが自分の最大の武器だと再確認できた」と勝因を語った。

3年連続全道大会出場の鈴木君



鈴木広大君(電3)は5月31日に旭川スイミングスクールで行なわれた第79回北海道高等学校水泳選手権大会旭川支部予選会に出場し、1500m自由形で優勝、400m

水泳

2種目で全道出場

ペースを上げていく

を上げ、相手に対して必ず3発以上打ち返すことを意識したい。昨年度の全国大会では

大きなタイトルばかりを意識したが、今回は一戦一戦を勝ち抜くことにこだわり、その

先にある優勝を目指して日々の練習に励む」と力強く抱負を語った。

道大会への出場を決めた。

鈴木君は1年生と2年生の時に同種目で全道大会に出場しており、3年連続の全道大会出場となった。また、2年生の時には2種目で全国大会出場を果たしている。

鈴木君は「支部予選では選

手皆が楽しく泳いでいた。自分も緊張感なく、普段の練習通りのレースをすることができた。400m自由形では納得のいく結果ではなかったが、この大会で自分に足りないものが分かった。全道大会に向けてしっかりとタイムを刻む練習をしていく。全道大会では最初から最後までペースを上げていき、全国大会出場を目指す」と語った。

音楽大行進

22人で2曲を演奏

バトンをうまく回せた



永隆橋通を行進する吹奏楽部

第94回北海道音楽大行進が6月6日に行なわれた。80団体2772人が参加した。8条7丁目の斜線道路から南へ進行し永隆橋通を通り、1条10丁目まで行進した。31番目に行進した吹奏楽部は部員11人、OB・OG7人、先生4人の計22人で「ハム太郎とところた」と「Breakfast」を演奏した。

ドラムメジャーを担当した鈴木陵生君(機2)は「ドラムで音量は出ていた。普段の練習ではできていたことが、発揮できなかった。大会に出場して他校の演奏を聴き、音の鳴らし方や響かせ方などを学ぶことができた。それらを部の活動に取り入れたい」と感想を話し、8月1(2日)に旭川市民文化会館で行なわれる吹奏楽コンクール旭川地区大会に向けて「ホールでの響かせ方や全体でまとまりを持たせる練習をして、金賞を取りたい」と抱負を語った。

吹奏楽部

高文連支部大会 多くを学んだ コンクールで金賞を

吹奏楽部は6月19日に旭川市民文化会館大ホールで行なわれた第79回高文連上川支部音楽発表大会の発表部門に出場し、11人で広瀬勇人作曲の「ウィンタミアール・トップの小屋にて」を演奏した。副部長の北脇夢姫さん(化3)は「少人数ながら全体と

して音量は出ていた。普段の練習ではできていたことが、発揮できなかった。大会に出場して他校の演奏を聴き、音の鳴らし方や響かせ方などを学ぶことができた。それらを部の活動に取り入れたい」と感想を話し、8月1(2日)に旭川市民文化会館で行なわれる吹奏楽コンクール旭川地区大会に向けて「ホールでの響かせ方や全体でまとまりを持たせる練習をして、金賞を取りたい」と抱負を語った。